| 授業科目名 | ソーシャルワークの理論と方法 | 単位数 | 4 |
|---|---|---|---|
| 担当教員名 | 矢原　絵理 | 担当形態 | 単独 |
| 実務内容<br>（実務家教員の場合） | 社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワークについて解説する。 | | |

「学位授与の方針」との関係

星槎大学は、「人を認める、人を排除しない、仲間を作る」という三つの約束のもと、「人と人、そして人と自然とが共生する社会の創造に貢献する」を教育理念としています。共生科学部は、この三つの約束、教育理念に基づき、「21 世紀を創造する広く深い知の涵養」「共生する心の耕作」「課題探究能力の育成」「インクルージョン教育に基づいた社会実践を担い、社会変革を目指す人材の養成」を教育目的とし、以下の「星槎共生スピリット」を身に付けたものに学位を授与します。

A. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現の専門的知識を生かし、狭い専門領域を越えて統合しようとする意志を持つこと。
B. 問題が生起する現場において、専門知や統合知を使い、解決のために実践しようとする気概を持つこと。
C. 共感理解教育の理念を認識し、実践すること。
D. 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。
E. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけていること。
F. 共生社会創造の目的のために、絶えず学び続ける意欲を持つこと。

授業の到達目標及びテーマ

（１）人と環境の交互作用に関する理論とミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークについて理解する。
（２）ソーシャルワークの過程とそれに係る知識と技術について理解する。
（３）ソーシャルワークの様々な実践モデルとアプローチについて理解する。
（４）ソーシャルワークにおける面接・記録について理解する。
（５）ソーシャルワークにおける各技術について理解する。

授業の概要

この科目ではソーシャルワークの基盤となる考え方を押さえ、どのように展開されていくのかを中心に学んでいく。一人ひとりの利用者が抱えている生活上の困難に個別性を認めつつ、どのような実践モデル・アプローチの理論があるのかということを理解する。その各利用者がその人らしく生活できるために、その人のニーズを正確に捉え、いつ、どのようなアプローチが、どれくらい必要なのか、またどのような社会資源が必要で、関係諸機関とどのように連携する必要があるのか、支援の終結はどのような状態かといったソーシャルワークの過程について学ぶ。その他一つひとつの援助技術を習得し、実践の利用者支援にどのように活かすかということを考えながら学んで欲しい。

授業計画

第１回：人と環境の交互作用に関する理論とソーシャルワークについて理解する

第２回：ソーシャルワークの過程について理解する①（ケース発見～インテーク）
第３回：ソーシャルワークの過程について理解する②（アセスメント）
第４回：ソーシャルワークの過程について理解する③（プランニング）
第５回：ソーシャルワークの過程について理解する④（支援の実施とモニタリング）
第６回：ソーシャルワークの過程について理解する⑤（終結とアフターケア）
第７回：ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解する①
第８回：ソーシャルワークの実践モデルとアプローチについて理解する②
第９回：ソーシャルワークにおける面接について理解する
第１０回：ソーシャルワークにおける記録について理解する
第１１回：ケアマネジメントとコミュニティワークについて理解する
第１２回：グループを活用した支援について理解する
第１３回：ソーシャルアドミニストレーションについて理解する
第１４回：ソーシャルアクションについて理解する
第１５回：スーパービジョンとコンサルテーションについて学ぶ
定期試験

学修内容
レポートテーマ１：「授業計画」の第１回から第８回までの学習内容について、テキストの『最新・社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座　ソーシャルワークの理論と方法』で自己学修する。
レポートテーマ２：「授業計画」の第９回から第１５回までの学習内容について、テキストの『最新・社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座　ソーシャルワークの理論と方法』で自己学修する。
科目修得試験：レポートについても添削指導を受け、両方のレポートに合格したうえで科目修得試験を受ける。

教科書
『最新・社会福祉士養成講座　精神保健福祉士養成講座 12　ソーシャルワークの理論と方法』中央法規出版

参考文献
（１）川村 隆彦『価値と倫理を根底に置いたソーシャルワーク演習』中央法規　２００２年
（２）川村 隆彦『事例と演習を通して学ぶソーシャルワーク』中央法規　２００３年
（３）川村 隆彦『支援者が成長するための５０の原則　あなたの心と力を築く物語』中央法規　２００６年
（４）八木亜希子『相談援助職の記録の書き方　短時間で適切な内容を表現するテクニック』中央法規　２０１７年。

学生に対する評価
レポート評価（５０％）、科目修得試験（５０％）を総合して評価する。